

米国経済・株式市場情報

# パウエル議長発言を市場はハト派と判断

## 発言を受けて株式市場は上昇。来年以降も上昇相場は続くのか

- パウエル議長の講演会発言は市場ではハト派と捉えられ、米国株は上昇。想定より早い利上げサイクルの終了が意識される
- 一部投資家は米国株は調整局面に入ったとみる向きもある中、今後の米中貿易摩擦解消への期待も

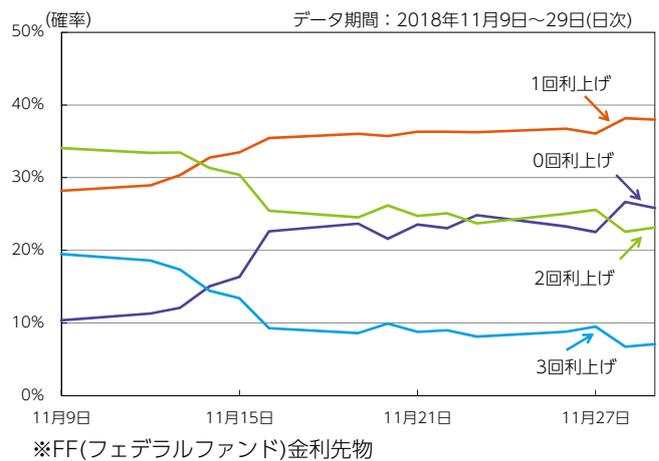
### ～パウエルFRB議長が講演会で発言～

● パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長は11月28日の講演会で、金利は中立金利(景気を冷やさず過熱もさせない金利)と推計される水準に近い位置にいるとの主旨の発言を行いました。市場ではハト派(金融緩和推進派)的であり、利上げサイクルの終了が近いと捉えられたことから米国株は上昇しました。10月の講演では、中立金利にはほど遠いと発言しており、米国株は発言以降、米金利の急上昇などもあり、10月下旬まで下落傾向が続いていました。今後市場の関心は、2019年の利上げ回数へと向かいつつあると見られます。パウエル議長は、金融政策は前もって政策が決められているものでなく、あくまで経済データ次第である旨を強調しました。9月FOMC(米連邦公開市場委員会)で示された政策金利の見通しは、(今年はあと1回)来年は3回利上げとされましたが、市場では来年1回の利上げが織り込まれつつあります。

### ～米国株は調整局面入りとの見方も～

- 想定よりも早い利上げサイクルの終了は裏を返せば景気のピークアウト局面の到来を予感させるものでもあります。一部投資家は、調整局面に入ったとの見方を示しています。歴史的には中間選挙の年の株価は好調ですが、2018年は10月以降さえない展開が続いています。年初来安値を付ける銘柄が増えています。また、GM(ゼネラル・モーターズ)の人員削減のニュースや、消費者信頼感指数の今後の見通しを示す期待指数が下落するなど景気減速が懸念されます。
- 一方で、年末商戦が始まった米国では小売売上げが堅調です。オンラインの売上げは前年比で約8%増となる見通しもあり、実店舗を含んでも当初の推計を上回ると予想されています。好調な売上げを受けて、個人消費の増加が続けば、減速が予想される第4四半期の国内総生産(GDP)へ好影響が期待されます。

図表1：2019年は1回の利上げを織り込む方向へ



図表2：2018年の米国株の推移



出所) 図表1、2ともにブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

トランプ政権による減税政策の効果が剥落し、来年度の経済成長のスローダウンが想定される中、11月30日より開催された南米アルゼンチンでの20カ国・地域(G20)首脳会議の場における米中首脳会談での貿易摩擦問題緩和に向けた交渉へ期待が集まっていました。その結果は追加関税を90日間凍結し協議を続けることとなり、今後の交渉の行方次第では来年の米国経済への好影響や株式市場へのカンフル剤へと期待されます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>